新政あいち　愛知県議会議員（日進市および東郷町選出）　2019.5.24　NO.16

福田よしお県政レポート

編集・発行　福田よしお事務所　〒470-0155　愛知郡東郷町白鳥二丁目 4-7
ＴＥＬ：0561-39-4407　ＦＡＸ：0561-39-4408　e-mail：fukuta440@yahoo.co.jp
ホームページ・Facebook にも活動の様子がのせてあります。ぜひご覧ください！

愛知県議会議員選挙(日進市及び愛知郡選挙区)結果報告

皆様には日ごろから格別のご支援を賜り心から厚く感謝申し上げます。さて、県会議員選挙は３月２９日に告示され、２名が立候補して４月７日投票日に向け選挙戦を開始しました。午後５時、他に立候補がなく無投票当選が決定しました。次の４年間も県民の安心安全と幸せのために全力で県政に取り組むことをお誓いするとともに、日進市、東郷町の発展のため近隣自治体との連携を深めて更に効率の良い広域行政を推進してまいりますので、皆様の一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに５月１日から元号が「令和」に変わりました。素晴らしい時代となるように愛知県政を推進するとともに、皆様のご発展とご健勝ご多幸を心からお祈りしてご挨拶といたします。

平成３１年２月定例愛知県議会(２月２５日～３月２０日)

２月定例愛知県議会は２月６日に豊田市の養豚場や田原市の関連農場で発生した豚コレラの緊急対策を進める中、平成３１年度一般会計当初予算や愛知県部局設置条例の全部改正始め予算関係 30 議案、条例関係 32 議案、その他の議案 26 件の計 88 議案が知事から提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て全て原案どおり可決又は同意しました。また３月 18 日に愛知県部局設置条例の全部改正に伴い常任委員会の名称及び所管事項を変更するため「愛知県議会委員会条例の一部改正について」が議会運営委員会から提出され原案のとおり可決しました。なお人事案件では副知事に松井啓介氏(企業庁長)を教育長には長谷川　洋氏(総務部長)を選任同意しました。当初予算額は一般会計２兆 5,124 億余円、特別会計１兆 3,398 億余円、企業会計 3,114 億余円、総額４兆 1,638 億余円で主要事業は次のとおりです。

第 70 回全国植樹祭(564,104 千円)

６月２日愛知県森林公園(尾張旭市・名古屋市守山区)で天皇皇后両陛下による「お手植え・お手播き」、県内外招待者による植樹、大会宣言など行います。
また６月１日には第 48 回全国林業後継者大会を豊田市で開催します。

あいちトリエンナーレ 2019(652,222 千円)

３年に一度の芸術の祭典を８月１日から 10 月 14 日(75 日間)まで愛知県芸術文化センター、名古屋市美術館、四間道・円頓寺地区、豊田市美術館、豊田市内で開催します。

地震から県民の生命・財産を守る強靭な県土づくり(83,036,682 千円)

住宅・建築物の耐震化促進、河川・海岸堤防の耐震化促進、緊急輸送道路等の整備促進、医療施設の耐震化促進、災害時の物流体制の機能強化、ライフライン機能の耐震化促進、港湾施設の耐震化促進、地籍整備の促進、災害廃棄物処理体制の構築、被災住宅の応急修理体制の整備、防災協働社会形成の推進、消防団員の確保、広域的な応援体制の充実などを推進します。

ラグビーワールドカップ 2019 開催支援(640,046 千円)

RUGBY WORLD CUP JAPAN日本2019

４年に１度開催される「ラグビー世界一」を決定する大会でアジアでは初開催。参加国は 20 カ国で全国 12 の会場で開催されます。なお豊田スタジアムの試合日程は次のとおりです。

9/23　ウェールズ VS ジョージア　　9/28　南アフリカ VS ナミビア
10/5　日本 VS サモア　　10/12　ニュージーランド VS イタリア

ワースト１返上に向け交通安全対策(20,164,982 千円)

交通安全県民運動等の実施、交通安全協働活動の実施、多発事故対策推進事業の実施、高度交通システム(ITS)の推進、交通安全施設を整備します。

犯罪のない安全な街づくり(19,282 千円)

住宅侵入盗や特殊詐欺など県民の安全・安心を脅かす犯罪を減少させるため、自主防犯活動の更なる推進、地域の連携した特殊詐欺の被害防止、地域再犯防止推進モデル事業を行います。

ジブリパーク整備促進(964,127 千円(外に債務負担行為 105,655 千円))

実施設計及びジブリの大倉庫の予定地の元温水プール棟内部の撤去工事などを行います。

「債務負担行為」とは、 将来にわたる債務を負う契約を結ぶこと

道路整備促進(96,526,810 千円)

広域幹線道路(名古屋環状２号線、名豊道路、西知多道路など)、都市間ネットワーク(名濃道路、豊田北バイパス、瀬戸大府東海線など)、都市機能活性化連続立体交差事業(知立連立、半田連立)、アクセス道路(新城バイパス、一宮バイパス、西尾張インターなど)などを進めます。

平成３１年２月定例愛知県議会議案質疑・建設委員会

本会議議案質疑　「フィルムコミッション活動支援事業費」(5,593 千円)

質問（福田） 「フィルムコミッション事業」に県下の全ての市町村が参加されれば撮影地の地元でも制作支援を通じて街おこしや観光誘客に結び付け地域の活性化につながるものと考えるが「愛知県フィルムコミッション協議会」はどのような活動を行ってきたか、今後県としてどのような役割を果たしていくのか。

答弁（観光局長） 愛知県フィルムコミッション協議会は、県内でより広域的な撮影支援を可能とするため平成２６年８月に設立し、Ｗｅｂページ等で映画やテレビドラマ、ＣＭ撮影が可能な県内の候補地を掲載するとともに、映像制作会社からの問い合わせに対し、撮影適地の紹介、自治体や地域のフィルムコミッション、さらには個別の施設との受入調整など、制作会社の求めに応じたきめ細やかな撮影支援を行っている。協議会設立の翌年度の問い合わせ件数は６１件、撮影等の支援実績が２１件であったものが、今年度は１月末時点で、問い合わせ件数が８０件、支援実績が５７件と大幅に増加している。また、近年のロケ地を巡るいわゆる「聖地巡礼」にみられるように、人気作品のロケ地が観光資源となることから、本県のロケ地や周辺観光地を掲載したロケ地マップを作成し、幅広く配布するとともに、首都圏・関西圏においてロケ地と撮影作品を紹介したパネル展を開催するなど誘客促進に取り組んでいる。今後さらに協議会の活動を強化していくために多岐にわたるシーンを撮影する映画やドラマでは、市町村や地域を越えた対応が必要となるため、撮影支援の受け皿となる参画団体を増やし、本協議会のネットワークを充実していくことが重要である。本協議会の構成団体は７つのフィルムコミッション及び１５の市町に増えているが、今後も協議会への参画団体を増やすための働きかけを行っていく。また、これまでの経験やノウハウを協議会関係者が共有し、効果的な撮影支援につなげるとともにエキストラ派遣など撮影現場を支える取組でも連携・協力を深めることにより県内により多くの撮影を誘致できるよう努めていく。

フィルムコミッション【film commission】とは 映画のロケーション撮影の際に発生する業務を撮影者に代理して行う機関。撮影場所を使用するための申請、地元住民との調整、宿泊施設・警備会社・エキストラの手配などを行う。

本会議議案質疑　「愛知県国際展示場整備事業費」(11,527,098 千円)

質問（福田） 愛知県国際展示場「アイチ・スカイ・エキスポ」が今年８月３０日開業を迎えるが開業準備業務のうち誘致・営業の具体的な取組と開業後どのような催事が行われる予定になっているのか。

答弁（振興部長） 誘致・営業業務では国内外の展示会・イベント主催者等へ個別営業を行うほか海外ＭＩＣＥ見本市へ出展しプロモーション活動等を行っている。アイチ・スカイ・エキスポは日本初の国際空港に隣接する展示場であることや日本唯一の常設の保税展示場であること、更には５つの展示ホールを連結することで国内最大級の５万㎡規模の催事利用が可能であるなど他の展示場に無い特長を有している。こうしたアイチ・スカイ・エキスポの特長をしっかりとＰＲしていくことで展示場の利用を促していく。次にアイチ・スカイ・エキスポで開催される予定の催事は**２０１９年と２０２０年の１１月に技能五輪全国大会と全国アビリンピック**が全館を利用し２年連続で開催されることが決定している。同じく全館を利用して**２０２０年１０月にロボットの国際大会である「ワールドロボットサミット」と「ロボカップアジアパシフィック大会」が同時に開催**されることが決定している。また**２０２０年６月には農林水産省と愛知県が共催する食育推進全国大会**が予定されている。

加えて２０１９年９月には多目的利用地において野外音楽イベントである「ＷＩＲＥＤ　ＭＵＳＩＣ　ＦＥＳＴＩＶＡＬ（ワイヤード ミュージック フェスティバル）」が、同年１２月には中部地区最大のアウトドアイベントである「ＦＩＥＬＤ　ＳＴＹＬＥ（フィールド スタイル）」の開催が公表されている。そして２０２０年７月には産業用ロボットの新たな展示会として「ロボット テクノロジー ジャパン」の開催が公表されている。こうした中、開業初年度については本県が平成２９年度にコンセッションの募集要項において想定していた施設稼働率１５％を上回る利用状況となっている。

本会議議案質疑　　「歯科口腔保健推進費」（11,200 千円）

質問（福田）　平成２７年度から平成２９年度までの３年間の事業として高齢になっても歯と口の健康を保つための対策を進めることを目的とし、中小事業所の従業員とその家族約１万人を対象に愛知県歯科医師会に委託して歯科検診と生活習慣に関する調査が行われたが、この成人期口腔ケア推進事業の実施結果と実施結果を踏まえたその後の取組みは。

答弁（保健医療局長）　成人期口腔ケア推進事業は、全国健康保険協会いわゆる「協会けんぽ」の愛知支部に加入している事業所の従業員とその被扶養者の約１万人を対象に歯と口の健康状態や歯科健診の受診状況などについてアンケート調査を実施し、その結果タバコを吸わない人は喫煙者に比べて多くの歯が残っていることや「かかりつけ歯科医」を持ち定期的に歯科健診を受けている人は歯と口の健康状態が良好であり、全身の健康状態も良いと感じていることなどが明らかとなった。そこで平成２９年度にこの結果を元にリーフレットを約１１０万部作成し、協会けんぽ愛知支部に加入する事業所の従業員等に配布するとともに啓発用ポスターを約１万５千部作成し、歯科診療所や地域産業保健センター等へ配布を行い、定期的な歯科健診の受診について啓発した。次にその後の取組みは働く世代の歯と口の健康づくりを推進するため、口腔ケアに対する職場の理解の促進と成人を対象とした歯の健康教育に対応できる歯科医師の育成が重要であり、本県では今年度から愛知県歯科医師会に委託し、成人期口腔ケア推進事業で作成したリーフレット等を活用して事業所の保健事業担当者や保健師、開業歯科医師を対象に働く世代の歯周病対策や定期歯科健診の重要性などを内容とする研修会を合計８回実施したところ事業所の担当者６４１名、保健師６１名、歯科医師２０３名が参加され、その結果、事業所における口腔ケアの重要性についての理解が進み、協会けんぽ愛知支部加入事業所の職場での歯科健診の実施数は平成２８年度末の３事業所から平成３１年２月末には１５２事業所へと大幅に増加した。来年度も引き続きこの研修会を開催するとともに、新たに歯科医師を対象にした禁煙支援に関する研修会を開催して、禁煙支援が適切に実施できる歯科医師を養成し、働く世代の口腔ケアをさらに充実する。県としては、生涯を通じて健康でいきいきと過ごすことができる「健康長寿あいち」の実現に向け、歯と口の健康づくりの着実な推進を図っていく。

建設委員会一般質問　「道路整備について」

質問（福田）　「広域幹線道路の整備」のうち名古屋環状２号線西南部・南部区間の進捗状況と今後の見通しは。

答弁（道路建設課主幹）　名古屋環状２号線の未開通区間である名古屋西ＪＣＴから(仮称)飛島ＪＣＴまでの約１２㎞区間については、２０２０年度の開通に向けて国および中日本高速道路株式会社が事業を行っている。現在の進捗状況は橋梁下部工がほぼ完成しており上部工についても全線にわたり着手済みである。県として引き続き１日も早い開通に向けた整備の加速を国および中日本高速道路株式会社に働きかけていく。

質問（福田）　「広域交通拠点等へのアクセス道路の整備」のうち国道１５１号新城バイパスの整備の進捗状況と今後の見通しは。

答弁（道路建設課主幹）　国道１５１号新城バイパスは平成２８年２月に開通した新東名高速道路の新城インターへアクセスする交差点を含む延長約８．７㎞のバイパスであり平成２２年３月に全線が暫定２車線で開通している。現在、新城インター交差点から八束穂交差点までの約１キロメートル区間の４車線化整備を進めている。今年度は関連して付け替えが必要となる市道八束穂県社線の橋梁の付属工事と本線４車線化に向けて現道の改良工事を行っており早期の完成を目指していく。

質問（福田）　「都市間ネットワークの形成を支える幹線道路の整備」のうち住宅開発や大規模商業施設が相次いでオープンしている名古屋市と豊田市とを結ぶ国道１５３号６車線化や豊田北バイパス、国道１５５号豊田南バイパスの進捗状況と今後の見通しは。

答弁（道路建設課主幹）　現在の国道１５３号の名古屋、豊田間の渋滞状況については県としても認識しており、国からも「渋滞対策についてどのような打開策が必要かを探っていきたい。」と聞いている。県としては引き続き沿線市町と連携して渋滞対策について国に働きかけていく。次に国道１５３号豊田北バイパスについては、東海環状自動車道豊田勘ハＩＣから国道１５５号豊田南バイパスをつなぐ 6.8 ㎞の道路であり、このうち豊田勘ハＩＣへのアクセス区間 1.1km が暫定２車線で開通している。現在全線事業化されており 2019 年度に矢作川渡河部の平戸大橋を含む 0.8km が開通する見通しとなっている。次に国道１５５号豊田南バイパスについては、国道１５３号豊田北バイパスから南に豊田市駒場町まで 12.9 ㎞の道路であり、これまでに国道１５３号豊田西バイパス以南 9.2km が開通しているが、残る 3.7 ㎞は国により鋭意用地取得及び工事が進められている。

質問（福田）　仮称「ららぽーと東郷」が来年秋にオープンと発表されたが「都市計画道路名古屋春木線」の現在の進捗状況と今後の取り組みは。

答弁（道路建設課主幹）　名古屋春木線については「東郷中央土地区画整理事業」区域内で計画の大規模商業施設への交通集中に伴う周辺道路の交通混雑への対応のため、区画整理区域外の区間を県の道路事業により整備を進めている。事業実施にあたっては東郷町とも調整し、区画整理区域の西側区間となる約 0.6 ㎞を優先的に整備するため、一昨年度からは用地取得に、昨年度からは工事にも着手した。今後この区間の早期供用のためには、未買収となっている残る用地の取得が必要不可欠であるため、東郷町にも協力いただき引き続き取り組んでいく。まずはこの西側区間の整備にしっかり取り組んでいく。また区画整理区域の東側区間については現道につながるまでの 約 0.5 ㎞について西側区間の整備の進捗状況や周辺の交通状況を踏まえた上で検討する。

～福田よしおのひとり言～

平成の時代は阪神淡路大震災、東海豪雨、東日本大震災、熊本地震、大阪北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震、相次ぐ台風の上陸や各地でゲリラ豪雨などにより甚大な被害が発生し、今も復興半ばとなっています。愛知県も南海トラフ地震など災害対策が喫緊の課題となっているなか消費税の１０％対応も含め、限られた予算の効率的かつ重点的な配分と社会保障や保育・教育関係の需要増加にも対応する予算編成となりました。また豚コレラの終息に向けて迅速な防疫対策や農家経営支援にも対応しています。さらに今年は「渇水」の予報もあり、節水、節電と猛暑対策に県民の皆さんのご理解とご協力頂き「安心安全な愛知」をめざして日進市、東郷町の発展と県政の一層の推進を図ってまいります。

活動 Photo

野良猫の保護活動（随時）

4/15 堀川ハンギング バスケット作成会

4/7　岩崎城春まつり

5/4　たんぼラグビー in 日進

4/27　2019 愛知県中央メーデー

4/8　東郷高等学校第 52 回入学式

4/24　愛知保護区保護司会総会